

日本の義務教育段階の 多様な学びの場の連続性(カスケード)

特別な教育的ニーズのある児童生徒に対して、基本的には同じ場で共に育つ教育を追求するとともに、その時点で教育的ニーズに最も的確にこたえる指導を提供できる多様で柔軟な仕組みの整備。単に場を一緒にするのではなく、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある「多様な学びの場」(カスケード)を用意しておくことが必要。

